

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルてんじん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動や休日の活動に対して、事業所内で多くの職員で意見を出し合っている。新しい活動内容や普段の子どもたちの意見や様子からそのときに必要な活動内容を考えている。	活動に関して、普段児童と接している全職員の意見を反映できるように話し合いの機会をもったり、個別で意見を聞く機会をもったりするようにしている。	話し合いの機会を継続して定期的にもっていくことをしていきたい。
2	連絡帳や送迎時のお話しを通して、児童の様子をお伝えしたり、写真を見ていただくことで児童の事業所での過ごし方を情報共有できるようにしている。	余暇時間や活動の時間の様子を写真を撮って連絡帳に載せたり、連絡帳や送迎時のコミュニケーションを行うようにしている。	児童の様子をわかりやすくお伝えできるように職員のコミュニケーションスキルを上げること、今日の児童の様子を細かく観察し職員間で共有することで送迎時にどの職員でもお伝えできるようにしていきたい。
3	朝礼の時間に各児童の様子の振り返りを行い、情報共有に努めている。職員間で統一した子どもの状態像をイメージしながらかわっていきけるように努めている。	朝礼時に前日の振り返りを行い、児童の様子を共有する時間を取っている。	朝礼での情報共有を継続して行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対するプログラムや研修会などの提供をできていない。保護者会などの実施はできていない。	日程調整やプログラム作成がなかなかできていない。	保護者アンケートや保護者からの日々の相談内容から保護者会の実施や必要な内容について検討していく。
2	保育所等との地域交流ができていない。	交流のきっかけづくりや交流の目的をもつことが難しい。	来所している児童の保育園等へ交流を実際に行っている事例があるなど助言を聞きながら取り入れていく。
3			